



学校だより

深谷

令和6年1月9日

1月号

横浜市立深谷小学校

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/fukaya>

まちを愛する心

校長 石原 加代子

新年を迎えましたが、このたびの災害に心を痛めております。被災された方々へ心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧を祈念いたします。不安を抱える子どもたちに寄り添い、安心して学校生活を送ることができるように教職員一同努めてまいります。

本校が目指す目標の一つに、まちを愛する心の育成があります。4年生の総合的な学習を紹介します。東山自治会では令和3年から横浜市の地域緑のまちづくり事業に取り組んでいます。その一環で東山地区の主な通りの名前を募集していたので、現4年生が2年生の時にまち探検に出かけ、特徴をとらえて愛称を命名しました。またうれしいことに、「アジサイの丘」に植樹した樹木に樹木札をかけてほしいとのお話があり、2年生の時からつながってきた4年生が引き受けました。自治会長さんに道で会った子どもが「〇〇さん、4年生が樹木札を作ります!」と、張り切って話したそうです。作り方を調べたりどんな樹木札にしたいかを話し合ったりして制作し、完成したものを自治会長さんと取り付けました。「どんな人にも見えるように高さを工夫した。たくさんの人に見てほしい。他の人の役に立ってうれしい。自然の大切さを知ってほしい。…」など、振り返りには、自分たちが役に立つと実感した思いや期待にあふれていました。「アジサイの丘」は子どもたちにとって特別の場所になったのではないのでしょうか。



校内には創立40周年に取り付けた樹木札があります。樹木に紐が食い込んだり痛んだりしていたので、校内の樹木札の制作にも取り組んでいるところです。この取組を通して全校児童の生命を尊重する心を育みたいと考えています。

さらに、「戸塚西公園を五つ星公園にしよう」を目標に、戸塚土木事務所や環境創造局の方々にご協力をいただき、深谷町内会・富士見ヶ丘自治会・東山自治会の公園愛護会と連携して、自分が選んだ木の樹木札を制作しています。地域の方々の思いや願いを聞き、自分たちも地域の一員であることを自覚し、できることを実行しようとする思いが高まってきています。人とのつながりを深め、地域とともにまちを創っていくのが楽しみです。

ところで、地域の方から学校にこんな手紙が届きました。一部抜粋を紹介します。
～私は82才になる東山公園のボランティアをする公園愛護会の者ですが、とてもうれしいことがありました。公園の清掃をしていると、突然大きな声で「いつも公園の清掃をありがとうございます!お手伝いしたいです!」と、最後まで手伝ってくれたことです。～感謝の気持ちを素直に伝えて自分たちができることに進んで取り組んだことを知り、私たち教職員は「まちを愛する心」が育ってきている喜びを感じています。

これからも、深谷のまちの「人・もの・こと」とのつながりを大切に、様々な教育活動を通して、深谷のまちを愛する心を育成していきます。引き続き地域の皆様・保護者の皆様の温かいご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。